

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1190200962		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	ハイムガーデン東川口		
所在地	川口市戸塚南2-8-9		
自己評価作成日	令和6年1月26日	評価結果市町村受理日	令和6年3月4日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号
訪問調査日	令和6年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「地域に開かれたグループホーム」という目標は変わらず、同じ市内の放課後デイサービスの子供たちとの交流を図ったり、納涼祭の花火に近隣の方々に参加していただいたり、少しずつではあるが、地域の方との交流は図れてきている。また、弊社独自で作成した「サービス指針」を参考に、朝の送迎の際に読み上げている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

・ゆっくり朝寝坊をされたり、時には夜更かしを楽しまれるほか、のんびり午後の団楽を楽しまれるなど、利用者の生活リズムを大切に、明るくアットホームな環境のもと、安心・安全で快適な日々を過ごされるよう利用者本位の支援に取り組まれている。
 ・運営推進会議では、事業所から利用者の暮らしぶりや活動報告のほか、意見やアドバイス、災害時対策や地域の情報提供を頂くなど、幅広い内容での意見交換が行われ、有意義な会議運営がされている。
 ・目標達成計画の達成状況については、定期訓練では火災発生を想定し、初期消火など基本訓練に取り組まれるほか、食料・器材などの備蓄品やライフライン寸断時の対策に取り組まれるなど、体制整備に努められていることから、目標達成への取り組みが伺える。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見ると、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見ると、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている	社は、サービス方針、サービス宣言を掲げ、会議の前などに唱和している。	「私たちは、お客様お一人おひとりに寄り添い、その人らしい生活ができるように真心あるサービスを提供します」の理念のもと、利用者に寄り添い、持てる力を活かし、健やかで、安心して暮らせるようチームケアに取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭りで花火をしたときに、近隣のボランティアさん、お隣さん、訪問看護ステーションのスタッフが来てくれた。市内の放課後デイサービスの子供とも交流ができた。	地域イベントへの参加のほか、地域住民やボランティアとの交流など、利用者が地域とつながりながら暮らせるよう基盤づくりに努められている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	不定期ではあるが、ホーム内の様子や認知症の知識などをホーム外の壁にチラシとして貼り出している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	集合形式で2か月に1度開催している。	運営推進会議では、事業所からの利用者の暮らしぶりや活動報告のほか、事業所の取り組みについての意見やアドバイス、地域の情報提供など、幅広い内容での意見交換が行われ、事業所運営に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターの方々と交流を図っている。	報告・連絡・相談時などでコミュニケーションを図られるほか、感染症対策の情報提供など、良好な関係を構築されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全面への配慮から、玄関の施錠は実施しているが、身体拘束をしないケアについては研修を通じて実践している。	身体拘束廃止委員会が定期的に行われている。その機会に拘束に関する学びの時間をもち、身体拘束の内容とその弊害を確認、言葉での拘束を含め、行動抑制をしないケアを実践されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の芽チェックリストを使用し、自身のふるまいが虐待に当たらないかどうかを確認している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前、ご家族と疎遠になってしまったお客様に対して、後見人を付けたらどうか？と相談に乗ったことがある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	1時間以上かけ、専門用語は極力使わないように配慮しながら、契約書や重要事項説明書についてお話ししている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口の案内は、契約締結時に説明している。	利用者とは日々の関わりの中で話を聴き取り、適宜対応されている。家族とは面会時や定期連絡時などで意見・要望を聞き取られている。その意見や要望は職員間で話し合い、サービスや運営に活かされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	拠点会議を開催したり、個別に話をきくなどして意見を反映できるような工夫をしている。	定例会議のほか、日常業務の中でも話し易い職場環境が作られ、意見・提案の聞き取りをされ、レクリエーション企画や個別ケア対策等、具現化されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	こまめに話をきくなどの配慮は行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者向けの研修と、ケアマネジャー・主任向け研修を定期的で開催している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人内の所長同士は集合形式の会議後に懇談会をおこなっている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学の段階で、ある程度の心配事や不安なことは聞き取るように意識している。特に、質問形式になってしまわないよう、会話の中から情報を得られるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学に来られた際に、入居までの流れを説明したり、概算表を用いて料金の細かい設定も説明するようになっている。また、ご家族の要望も聞き取りしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学時に、ご本人がどういった状態にあるのかによって、グループホーム入居を進めるべきか助言している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームでの生活は、日常生活の延長上にあるものと考えており、できることはご自身でやっていただくようになっている。また、家事などは一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が希望すれば、外出なども行っていただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の方との面会や、遠方の親戚との面会は何度か行っている。また、手紙のやり取りを続けている方もいる。	限定的であるが、友人との面会や電話連絡、神社での初詣や馴染みのコンビニエンスでの買物、家族の協力を得ての外食など、これまでの関係が途切れないよう支援をされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良いお客様を近く席にするなどの配慮はしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから、積極的に様子を聞いたりすることはしないが、ご家族からの相談があれば、適宜応じるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時には、必ず本人の意向とご家族の意向を聞き取るようにしている。	利用者とのコミュニケーションを大切に、声かけを行うことで、思いや意向の把握に努められている。言語表現が困難な利用者についても、日頃の関わりの中で、表情や仕草などから汲み取られたり、家族からの情報を得て、利用者本位に検討をされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報は出来る限り収集するように努めている。担当ケアマネジャーや、ご本人が利用していた他の介護サービス事業所、ご兄弟などお話が聞けそうな方からは情報をもらうよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	レクリエーションや、家事作業を共に行う中で、「ここまでではできそうかな」「これ以上はむずかしいかもしれない」といった状況を把握できるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成後、担当者会議を開催し、他スタッフからの意見を取り入れてから完成させるようにしている。	利用者・家族から思いや意向を聴きとり、医師・看護師からの指示を含め、全職員の意見やアイデアを活かし、その人らしさを大切に、現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプラン実施状況については、個人記録に記載している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問歯科や、訪問マッサージなどの利用を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	移動式のスーパーを導入検討中。他にも、運営推進会議などで得た地域の方からの情報をもとに遠足を企画中。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医による内科受診の他、以前から通っていた眼科への受診などは、ご家族と協力しながら行っている。	入居時に希望のかかりつけ医を選択していただき、状況に応じて協力医療機関への変更の相談にも応じられている。日常的に定期的な往診や看護師による健康管理が行われ、緊急時にも対応できる体制が整えられている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	少しでも気になる症状があれば、訪問看護ステーションへ連絡し、相談するようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の相談員と密に連絡を取り合い、退院時期やリハビリの進捗などの情報を交換している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・終末期の指針については、契約時に説明し、署名捺印をもらうようにしている。また、そういった時期が来た際には改めて、ご家族の意向を確認している。	利用者の症状に合わせ、重度化・終末期についての話し合いが持たれ、利用者・家族と意思統一を図られている。その後も意思の確認を進めながら、医師・看護師と連携のもと、重度化や終末期支援に取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時におけるフローを、スタッフが見える場所に掲示している。緊急連絡網も整備している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	BCPを含め、非常災害時の動きについては避難訓練を通して確認している。	定期訓練では火災発生を想定し、初期消火、通報、避難誘導訓練に取り組まれている。また、食料・器材などの備蓄品やライフライン寸断時の対策整備などに取り組まれている。	災害対策は十分取り組まれています。高齢者を預かる事業所として、訓練を重ねて課題を見つけ解決するなど、組織対応力の維持向上に向けた継続的な取り組みに期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーについての研修を実施しており、声掛けについては、不適切なケアにならないよう、スタッフ同士が声を掛け合うようにしている。	排泄介助時には必ずドアを閉めること、入浴時の羞恥心への配慮など、利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわぬよう気遣いを持つなど、きめ細かな対応が取られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物の希望や、外出の希望については出来る限り希望に沿えるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	基本的には自由に過ごしていただくようにしている。食事も、その時間に起きられないなどあれば延食で対応するなどの対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類については、ご自分で選んでいただく事にしている。季節感が合わないものなどは、こちらがさりげなく声掛けしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を一緒に書いたり、食事形態も一人ひとりに合わせたものに加工している。	利用者の力に合わせて、食事の盛り付けや後片付けなど、職員と共に行っている。催事には寿司や天麩羅、お節料理のすき焼き御膳が提供されるほか、おやつ作りを楽しまれるなど、食の楽しみを大切にした支援が行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	外部の食事業者に依頼しているが、管理栄養士の考えた献立なので、必要な栄養素は確保できている。また、食事形態については個人に合わせたものに加工している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは実施している。必要に応じて、口腔ケアスポンジなども活用している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使って、排泄のパターンは把握できるよう努めている。 夜間も、トイレまで間に合わないなどの場合はポータブルトイレを設置するなどして、すぐオムツにならないようにしている。	一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、適宜、声かけを行なうほか、利用者個々に事前誘導を心掛けるなど、きめ細かなケアをされ、失敗防止やオムツ類の使用量削減と自立にむけた支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ホットタオルで腹部をマッサージしたり、冷水を飲んでもらうなどは行いつつ、便秘解消につながる薬の内服も行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	集団生活の中で無理のない範囲での希望には沿っている。	週2回の入浴とし、利用者の状況や希望に応じて柔軟に対応されている。ゆず湯や菖蒲湯など季節湯のほか、職員とのおしゃべりを楽しませている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない方には、下肢をマッサージしたり、フロアで過ごしてもらうなど、必ず決まった時間に寝なければいけないという形にならないよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情が、すぐ確認できる場所に保管されているので、気になる症状があればすぐに確認する、訪問看護師に相談するなどの対応を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩(天気を見ながら)、パズル、塗り絵、家事仕事、駐車場スペースの掃き掃除、庭の水やり、季節に合わせたおやつ(甘酒や果物)の提供を通じて、支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出については、特に制限は設けていないので、ご家族と一緒に外出したり、近隣への買い物であれば一緒に行く事もある。	事業所周辺での散歩のほか、駐車場での外気浴や花火大会、テラスや畑での花植えや野菜づくりを楽しませている。また、コンビニエンスでの買物や家族の協力を得ての外出など、出来るだけ外出の機会を多く持つよう支援に取り組まれている。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症の特性上、トラブルを回避するために、ご本人による金銭管理は行っていないが、食べたいものや読みたい本などあれば、本人のおこづかいから購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話でのやり取りは行われている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	最近、壁紙の張り替えを行い、落ち着いた色合いに変更した。気持ちよく過ごせるよう、物は多く置かないようにしている。	リビングには、節分祭の壁面飾りが飾られ、利用者が季節を感じながら、気持ち良く過ごせるよう工夫をされている。また、毎日掃除の時間が設けられ、居室を含め清潔維持と衛生管理に努められている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に長椅子や、椅子を設置し、一人で座ったり、仲の良い人たち数人で座ったりできるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	見学の段階で、家具の持ち込みは可能であることは伝えている。お仏壇を持ち込む方や、お気に入りの絵を飾っている方もいた。	馴染みの寝具や家具が持ち込まれているほか、テレビや家族の写真などが持ち込まれ、利用者が落ち着いて過ごされるよう工夫をされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所が分からなくなることが多かったりするの で、「トイレ」や「お風呂」の表示はするよう にしている。		

(別紙4(2))

事業所名: ハイムガーデン東川口

作成日: 令和6年3月1日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 定期の避難訓練は実施しているが、火災想定のみとなっているため、地震や風水害が発生した際の、スタッフの細かい動きなどより詳細なマニュアルが整備されていない。特に夜勤者が1名しかいない場合。	・火災のみではなく、地震や風水害が発生した場合のスタッフの細かい動きを共有し、スムーズに動けるようになる。	・BCPを活かしたシミュレーションを行う。 ・夜勤者同士の話し合いの場を設け、情報交換を行う。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。